住まい活動助成

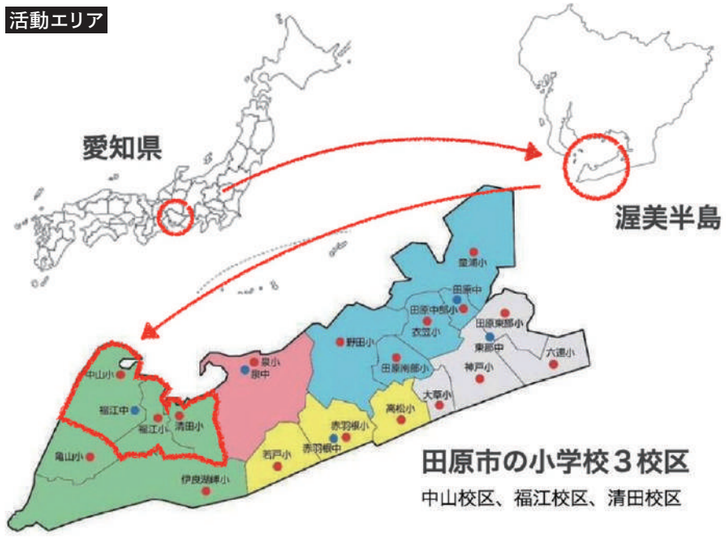
NPO法人 達人塾ねっと

愛知県田原市

建築士と大工による安価な耐震改修方法の普及啓発の取り組み

2022年10月に実施した、モデル住宅の見学会。地域内の戸建住宅を教材に、安価な耐震改修工法を実際に施工しながら身につける

活動エリア



団体設立経緯

愛知県で木造住宅の安価な耐震改修工法の開発や評価制度の立ち上げにかかわった建築士や大工のメンバーが中心となり、主に西日本の府県と連携して、2013年度から「木造住宅耐震リフォーム達人塾」を開催するようになりました。その成果が、耐震改修先進地である高知県などで大きく評価されたことから、さらなる発展を目指し、18年にNPO法人を設立しました。

活動概要と活動対象範囲

渥美半島の先端にあり旧渥美町の中心部である、中山、福江、清田の3校区を主な活動範囲にしています。地元の大工・工務店が安価な耐震改修技術を習得し、耐震改修に取り組むことで、3校区の減災まちづくりを推進。地域ぐるみで木造住宅の耐震改修を促進し、南海トラフの巨大地震に備えて安全なまちづくりを目指すこととしました。

活動に至った理由や背景

当団体は19年度、国の助成を得た「民間まちづくり活動促進事業」として、この課題に取り組みました。しかし、大工への浸透が不十分だった点や、減災まちづくりについても、年度後半からの新型コロナウイルス禍により十分な活動ができなかったことが課題として残りました。

この経験を踏まえ、大工に本気で取り組んでもらうため、地域に多くある、高い軒高が特徴の丈三建てなどの田原型住宅をモデルケースとして取り入れることにしました。また、コロナ禍でもきめ細かく情報を届ける「**たいしんだより**」を作成し全戸に配布するなど、新しい試みを展開することとしました。

活動内容と成果

地域住民に対する働きかけと、地区内で活動する大工・建築士の教育の両面を意識して活動に取り組みました。具体的にはたいしんだよりの全戸配布を通じて、地震のリスクとそれに備える耐震改修の必要性、そして安価な耐震改修技術や補助金制度などの情報を提供し、地域全体で耐震性能を向上できるように呼びかけました。たいしんだよりは6月に第1号を発行、以降月1回のペースで年度内に10号まで発行しました。各号3500部を作成し、全戸に配布しています。

活動を進める中で、田原市の木造住宅耐震改修事業補助金を適用して、設計費と工事費をほぼ全額賄うことが見込める事例があったため、これをモデルケースに位置付けました。たいしんだよりで地域住民に概要を伝えるのと併せて、大工・工務店の実技演習や見学に活用するなど、複合的な活用を目指しました。

事業期間の後半には「**たいしん笑点**」という、耐震改修の啓発の新たな可能性を切り開く取り組みも試みました。大工と住民がともに楽しむことができる、一体感のあるイベントにできたと思います。

【2022年4月14日】田原市への協力要請と3校区への協力要請

田原市とは本件助成の申請前から事前調整を進めていましたが、この日に正式に協力を要請しました。月1回のたいしんだよりの仕分け、校区への配達、3校区での減災まちづくりへの協力、大工への働きかけなどについて、全面的な協力体制を約束しました。また各校区に対しても、減災まちづくりの実施やたいしんだよりの全戸配布、減災まちづくりワークショップへの参加などを依頼し、協力を確認しました。

耐震改修に必要な情報を地域に伝える「たいしんだより」

【5月16日】キックオフ集会

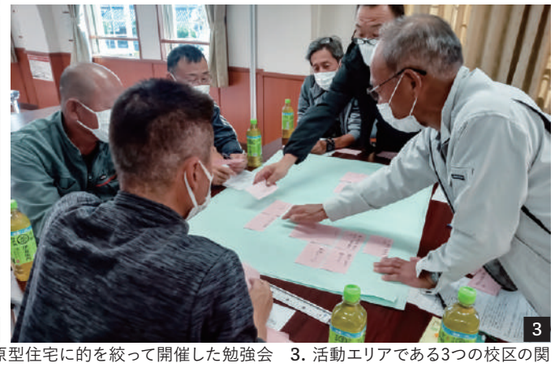
3校区の校区長、各自治会長が参加するキックオフ集会を開催しました。減災まちづくりの意義や今後のスケジュール、各自治会に協力してほしいことなどをまとめて説明した後、質疑応答の時間を設けました。

質疑ではある自治会長から、この地域では農業で大きく儲かった時期があり、その時ほとんどの家が建て替わったので、もう耐震改修の対象となる住宅が残っていないのではないか、という質問がありました。それに対して田原市職員からは、3校区ともまだ多くの対象住宅があり、被害想定でも倒壊により多くの方が亡くなる試算が出ていることが説明されました。これについては、たいしんだよりでも取り上げて、全住民に周知しました。

【6月8日】大工さんの勉強会

旧渥美町の大工15名が参加。安価な耐震改修工法の施工方法な

5月に開催したキックオフ集会。対象エリア内の校区長、自治会長を集めて減災まちづくりの取り組みを説明した



1.モデル住宅で耐震改修工法の施工を体験　**2.** 身近な建物である田原型住宅に的を絞って開催した勉強会　**3.** 活動エリアである3つの校区の関係者が参加した減災まちづくりワークショップ。具体的なアクションにつなげた

どを分かりやすく解説した、ビデオ講習などを実施しました。

事後アンケートでは「とても分かりやすかった」との意見が多く見られました。解説した工法について実施は可能であること、今後積極的に耐震改修に取り組んでいきたいことなどの記載があり、今後につながる講習会になりました。開催の結果を集合写真とともに、たいしんだよりに掲載しました。

【10月7日】「自己負担ゼロ耐震改修モデル住宅」を活用した大工・工務店向け見学会

地区の方が所有する借家で、事前の耐震診断により、設計費と工事費がほぼ補助金の限度額内に収まることが判明している住宅がありました。これをモデル住宅と位置付けて、耐震改修を実施してもらうこととしました。

このモデル住宅を教材として、安価な耐震改修工法の講習と、施工を実際に体験するイベントを実施しました。参加者には初めてこの工法に触れる人もあり、現場では質問が活発に交わされました。手を動かして工事を体験することによって、参加者の理解が大きく進む様子が確認できました。

【10月7日】田原型住宅の耐震改修勉強会

丈三建てといった田原市の典型的な木造住宅を、いかに費用を抑えて耐震改修できるか。達人塾講師の総力を結集した教材を作成し、講習する勉強会を開催しました。

講習会では、講師も驚くほど具体的な質問が数多く出され、参加者と一体となった検討が進みました。この勉強会には、木造住宅の耐震診断・耐震改修設計に活用されるソフト「達人診断」が丈三建て住宅に対応するという、画期的な内容も含まれました。この教材や講義内容、質疑を再整理し、成果物としてまとめた上で、田原市の建築士や大工に提供していきます。さらに他の地域にも展開する予定です。

【10月24日】減災まちづくりワークショップ

3校区それぞれから、校区長、自治会長、自主防災会役員など6名が参加。地震発生時に死者やけが人を減らすために、組織として何ができるのかを検討するワークショップを実施しました。

この地域では温室栽培が盛んなため、「地震時に温室内にガラスが降ってくる」といった、地域特有の被害想定もありました。最後に、減災まちづくりとして各校区で今年度中に取り組むことについて検討しました。清田校区は、区民会館での家具の固定に関する展示、福江校区と中山校区は、校区民に向けた講演会に取り組むことを決めました。

【23年2月3日】たいしん笑点

素人ながらこの道30年以上の方の落語、田原市職員による大道芸、愛媛県職員によるたいしん漫才とパフォーマンス、達人塾講師などによる大喜利と、参加者も十分楽しめる取り組みとなりました。開始前には、田原型住宅の勉強会の成果報告会を実施しました。大工10名、地元住民の約60名の参加があり、ともに楽しむ企画となりました。

住宅耐震という住宅所有者にとっては難解な内容について、楽しみながら学べるこの取り組みは、防災啓発の新しい手法の一例と言えます。例えば愛媛県では、県が実施する出前講座の中にたいしん漫才やパフォーマンスを取り入れ、参加者が楽しみながら学べるように工夫しています。このような取り組みは、減災まちづくりの重要な要素であると考えられます。

【2月15日】校区単位の安価な耐震改修講習会

中山校区、福江校区の住民に対し、耐震改修の必要性、安価な耐震改修工法の概要などを分かりやすく解説する講演会を開催しました。そのぞれの校区の主催で、各校区の市民館を会場としました。講師は当NPO法人理事長の川端が務めました。

それぞれ80名ほどの参加があり、今後の耐震改修の推進など減災まちづくりにつながる講演会となったかと思います。講習会では講師が、各校区や自治会の耐震改修を推進するための取り組みとして、担当地区の耐震改修必要戸数、耐震改修を実施した戸数を毎年度ごとに把握することを推奨しました。

課題と解決方策

地域ぐるみの耐震化を円滑に進めるためにはどうすればよいか。3校区の減災まちづくりワークショップでも取り組みましたが、明快なアイデアには至りませんでした。

この課題について、先進地区の高知県黒潮町では、地区内の耐震改修を必要とする戸数と毎年の実施戸数を区長がチェックしていたということが1つの解決策になるのではと考えました。最初に必要となるのは実態の把握です。耐震診断を経て改修を必要とする戸数、これまでに実施した耐震改修、毎年の耐震改修の実績を把握していくことが、地域ぐるみの耐震化を推進する上での重要なステップとなり得ます。

落語やパフォーマンスなど娯楽要素を取り入れ、楽しみながら耐震改修の知識を啓発する「たいしん笑点」。多くの地域住民が集まった

今後の予定

今後、校区ごとの耐震診断、耐震改修の実施件数について分析するとともに、地区の大工・建築士の取り組み状況について追跡調査し、今回の事業の効果を確認していきます。田原市とは今後、今回の事業地区である中山、福江、清田の3校区について減災まちづくりを支援していくとともに、旧田原町側の地区でも、たいしんだよりと減災まちづくり、大工の勉強会などを絡めた取り組みを進めます。さらに、耐震改修に取り組む全国各地の市町村と連携して、様々な地域ぐるみの耐震化を実現していく予定です。

特定非営利活動法人達人塾ねっと

2013年8月設立、18年2月法人化／メンバー数:25人／代表者:川端 寛文（かわばた・ひろふみ）

●〒458-0852　愛知県名古屋市緑区元徳重2-711

kawabata.hirofumi@nitech.ac.jp

tatsujinjuku.net/　www.facebook.com/groups/172968100059237

私たちは、地震が来ても人が死ぬことがない地域づくりを目指して、木造住宅の安価な耐震改修技術と減災まちづくりの普及活動を推進しています。